

平成30年度 東京都立国分寺高等学校 学校経営報告

<教育活動の主な取組実施報告書>

評価A：90%以上の達成度 評価B：70%以上 評価C：70%未満

教育活動	主な取組み	評価	取組み状況と数値結果
学習指導	<p>(1)学習習慣とともに、基礎学力の定着を図るために小テストや週末課題等を活用する。</p> <p>(2)主体的な学習態度を養成するために、シラバスや本時の目標を提示して学習の見通しをもたせ、達成度を検証させる。また、板書や教材を工夫して教育効果の高い授業を展開する。</p> <p>(3)思考力や判断力、表現力を育成するために、実験・実習を重視するとともに、生徒に考えさせる授業、アクティブラーニングを活用した授業を展開する。</p> <p>(4)学習への興味や関心を引き出すとともに、学ぶ意欲を向上させるためにICTを活用した授業を展開する。</p> <p>(5)受験指導力の向上を図るために、センター試験や難関大学などの入試問題の分析を各教科が組織的に取り組む。</p> <p>(6)授業規律を遵守した授業を推進する。</p> <p>(7)グローバル社会で活躍できる資質・能力を育成する指導・授業等を推進する。</p>	A	<p>(1)生徒による授業評価（年1回）、生活・学習時間調査（年5回）を実施し、主体的な学習態度や自宅学習習慣の定着を図った。年間授業時数を確保するように努め、小テストや課題等の実施により、基礎学力の定着を図った。</p> <p>(2)大学入試改革に伴う高等学校基礎学力テスト・新テストの動向を踏まえ、アクティブラーニングを活用した授業を展開した。また、ICTを活用した授業は徐々に広がりつつある。教員相互の授業参観は次年度も継続して実施する。</p> <p>(3)学習の遅れている生徒への、遅れを回復する指導を工夫した。</p> <p>(4)指導内容・方法の改善を、個々の教員はもとより各教科で主体的に取り組んだ。</p> <p>(5)規律ある授業により学習に対する集中力を育成した。</p>
進路指導	<p>(1)進路実現のための3ヵ年プランの充実を図り、キャリアガイダンスを行い、早期に進路目標を定めて主体的な取組みを促す。</p> <p>(2)各年次に応じた実力テストを実施し、生徒の学力を診断しながら進路実現のための学力向上を図る。</p> <p>(3)面接を重視して、生徒一人一人の学習状況と進路希望に応じた指導の充実を図る。</p> <p>(4)最新の進路情報及び本校生徒の進路実績に基づいたきめ細かな指導を行う。</p> <p>(5)長期休業日の補習・講習を全学年で実施する。</p> <p>(6)受験直前期の補習・講習の充実を図り、生徒の進路実現に向けた指導・支援に努める。</p> <p>(7)平成30年度入学生における総合的学習の探求的活動を計画し実行する。</p> <p>(8)平成30年度入学生における調査書の変更に対応する。</p> <p>(9)高大接続改革に対応する。</p>	A	<p>(1)学校行事、総合的な学習の時間、校内実力テスト、大学入試などを考え、三年間を見通した進路指導計画を作成し、生徒自ら入試対策を立てられるよう指導した。一方で個別の生徒との面接を重視し、生徒の進路に関する疑問や適性の発見に努めた。</p> <p>(2)「総合的な学習の時間」にキャリアガイダンスを行った。1年次は「探究基礎」で「論理コミュニケーション」を実施した。部門別課題研究（3年次2単位）では調査・研究することにより、その部門の理解を深め自律的な学習能力を身につけさせた。</p> <p>(3)一年次生3回、二年次生4回、三年次生5回の校内実力テストを予定通り実施した。</p> <p>(4)「進路の手引き」・「進路だより」を作成、配布して進路意識の向上に努めた。</p> <p>(5)分野別進路講演会や社会人講演会において国公立大学や私立大学教員や各分野での専門家を招き、学問の面白さや大学の特色などについて講演を行い、学問や大学に対する生徒の関心を高めた。また進路遠足では実際に大学を訪ね、大学生活について具体的な調査・体験活動を実施した。</p> <p>(6)長期休業中の補習・講習等を行った。</p> <p>(7)校内実力テスト、大学入試センター試験結果、大学合格状況等の資料を作成し進路指導に活用した。</p> <p>(8)各学年・各教科と連携し、読書指導やレファレンスサービスなど図書館を利用した進路指導を行った。</p> <p>(9)模擬面接指導を行い生徒の進路実現を支援した。</p> <p>(10)実力試験の結果などを分析し、生徒の学力の伸長や進路希望を把握し、学年や教科と協力しながら生徒の出願指導を実施した。</p> <p>(11)探究活動についての先行事例など、情報を収集し、本校の実態に適合した活動計画案を策定した。</p> <p>(12)調査書の変更についての情報を収集したが成績処理システムの</p>

			<p>入力方法等都教委からの指示がなく校内での体制準備ができない。</p> <p>(13)高大接続改革における大学入試等の変更について、情報を収集し、本校における対応策を検討した。</p>
生活指導 特別活動	<p>(1) あいさつを励行し、相互に尊重し合い好ましい関係を築くための指導について組織的に取り組む。</p> <p>(2) 自転車による交通事故防止及び自転車マナーの向上に努め、生徒自身が交通安全についての重要性を認識させる活動を組織する。</p> <p>(3) HR活動の充実を図り、学校生活の諸問題を生徒が自ら主体的に解決する態度を育てる。</p> <p>(4) 木もれ陽祭をとおして、国分寺生としての一体感と誇りをもち、達成感を体感させ、伝統行事を継続・発展させる態度を養う。</p> <p>(5) 部活動をとおして、文武両道を実践しルールの遵守や目標達成のために協力する態度を養う。</p> <p>(6) セーフティー教室を活用して、安全で安心できる学校生活を送る態度や能力を育成する。</p> <p>(7)オリンピック・パラリンピック教育を推進する。</p>	A	<p>(1)教職員が共通理解をもって指導に当たり、生徒が自らを律して規律ある学校生活を確立し、社会で通用する素養としての基本的な生活習慣や身だしなみを整え、国分寺生としての誇りや自負心を醸成し学校生活満足度を高めることができた。</p> <p>(2)生活委員会や部同連により、自転車の安全運転について意識啓発を図り、年間を通じて登下校時の自転車運転マナーの指導を行った。しかしながら、昨年度より、自転車の事故と苦情が増えてしまった。</p> <p>(3)HRの時間の年間活動計画を立案し、生徒の主体的な活動や自律的な活動を促進することができた。</p> <p>(4)計画的に木もれ陽祭の準備することで、授業や学習との両立を図り、クラス全員が参加する企画と活動にできた。また、初めての学校開催となった体育祭も滞りなくできた。</p> <p>(5)計画的かつ効率的に活動して部活動の目標達成に努め、部・同好会連絡協議会を中心に生徒の自律的活動を推進し、活動時間や下校時刻を厳守して、学習との両立を図った。</p> <p>(6)安全・安心に関する教育課題に対応したセーフティー教室を開催し、SNSについて生徒の意識の高揚と実践力を高めた。</p> <p>(7)保健体育等の授業及び国際理解教育における交流活動において、オリンピック・パラリンピック教育を実施した。</p>
教育活動		評価	取り組み状況と数値結果
健康づくり 環境教育 国際理解 教育	<p>(1) 生徒が自らの心身の健康管理を行えるような講習会・講演会を実施する。</p> <p>(2) スクールカウンセラーや特別支援教育コーディネータを活用した組織的な教育相談体制を確立し、心身の健康に不安をもつ生徒や保護者に支援を行う。また、相談内容について、教員同士で情報共有できるようにする。</p> <p>(3) 快適な学習環境を維持するために、毎日の清掃活動を徹底するとともに、定期的な大掃除を実施する。</p> <p>(4) 奉仕体験活動や宿泊行事を活用して、環境の維持・保全などの実践的な態度を養う。</p> <p>(5)50周年記念行事に向け、美化、救護計画の作成を行う。</p> <p>(6)オーストラリア、ニューサウスウェールズ州、ゴスフォード市、Gosford High School との交流活動。</p>	A	<p>(1)7月に熱中症予防学習会、12月に怪我防止のためのキネシオテーピング講習会を部活生徒と保健委員を対象に実施した。また、保健委員会発行の「保健だより」によって、自己管理を啓発した。</p> <p>(2)3月に1学年対象に「心の健康について」保健講話を実施。また、年5回の教育相談委員会を実施することで、教育相談体制の充実をSCと連携して図ることができた。相談内容については、職員会議等で情報を共有できた。</p> <p>(3)年間15回の大掃除と週1回のゴミ出し日のゴミ分別を基本とし、ゴミの減量化を意識させ、基本的なマナーを身に付けさせることができた。</p> <p>美化委員会の運営を支援し、三役を中心とした自主的な校内美化活動を推進させることができた。</p> <p>(4)行事での体験活動を通して、環境の大切さを学び、その維持・保全について、どのように関わることができるか、考えさせることができた。</p> <p>(5)9月の中旬に、式典当日の美化、救護計画を提案し、記念行事では滞りなく計画通りに実施できた。</p> <p>(6)10月に、18名の生徒と3名の先生を迎えて、交流活動を展開した。4泊5日のホームステイ、華道等の日本文化体験、授業、カラオケ体験、静岡県への遠足、全校集会等を通じて、交流を深めた。</p>

<p>広報・募集</p>	<p>(1) 学校説明会などを通じて本校の進学実績や「木もれ陽祭」などの行事の魅力を、主に多摩地区の中学生にアピールする。</p> <p>(2) 本校 website で情報を収集する中学生、保護者が増加しているため、広報活動の内容の充実をはかる。</p> <p>(3) 3年前から実施してきた、一年生を対象とした生徒アンケートを分析し、入学者生徒が本校を志望した理由を把握し、それに応じて広報戦略を随時見直ししていく。</p> <p>(4) 質的に優秀な中学生の確保に努力する。</p>	<p>A</p>	<p>(1) 学校説明会などを通じて本校の進学実績や魅力をアピールした結果、今年度の入試倍率は昨年度を上回ることができた。</p> <p>(2) 本校 website の充実させて結果、夏休みの学校見学会は全三回とも定員いっぱい約 2700 名が見学を訪れ、本校についての関心を高めることができた。</p> <p>(3) 一年生を対象とした生徒アンケートの結果、生徒たちが本校の魅力として最も高いスコアを出したものが「木もれ陽祭」であることや、塾が主催する説明会は生徒募集にほとんど効果がないことが分かった。</p> <p>(4) 入試倍率の向上とともに、入学生徒の学力資質の向上を図ることができた。</p>
<p>地域連携 高大連携</p>	<p>(1)各組織と連携して学校の活性化を図り、開かれた学校づくりを目指す。</p> <p>(2) 国分寺市と連携して奉仕体験活動等を進め、地域社会の一員としての意識を養う。</p> <p>(3) 公開講座や部活動で使用しない期間の施設開放により、広く都民に対して開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>(4) 高大連携・高大接続教育を推進する。</p>	<p>A</p>	<p>(1)国分寺市消防署・国分寺市役所・国分寺市内の小中学校や保育園・幼稚園と連携して、学校行事やボランティア活動等を実施した。</p> <p>(2)教科「人間と社会」の奉仕活動の一環として、国分寺市内の小中学校 10 校及び特別支援学校 7 校と連携した奉仕体験活動を実施した。また、地域の公民館の行事に吹奏楽部・華道部・書道部・美術部・文芸部が参加をした。</p> <p>(3)公開講座を 2 講座開講するとともに、12 月と 3 月に校庭開放を実施した。</p> <p>(4) 東京学芸大学等 9 大学との高大連携事業を継続するとともに、早稲田大学教職大学院の連携協力校として実習生を受け入れた。</p>
<p>学校運営</p>	<p>(1) 高い水準の授業実施・確保のため、学力スタンダードの活用等、工夫してカリキュラム・マネジメントを実施し、学校として組織的に授業力・指導力向上、学力向上に取り組む。</p> <p>(2) 各分掌・学年の主任による学校運営の進行管理を徹底する。</p> <p>(3) 学校運営連絡協議会の評価及び内部評価を活用して経営改善や教職員の指導力改善に取り組む。</p> <p>(4) いじめの防止や教育相談体制の充実に向け、組織的に取り組む。</p> <p>(5) 体罰の根絶に向けて組織的に取り組む。</p> <p>(6) 日常のあらゆる教育活動において心の健康づくりを推進し、自殺防止に全力で取り組む。</p> <p>(7) 防災教育の推進と充実に取り組む。</p>	<p>B</p>	<p>(1)次期学習指導要領を視野に入れた教育課程の検討を継続的に行った。総合的な学習の時間において探究的学習の具体的なカリキュラムを策定した。次期指導要領の改訂の趣旨について探究的学習についての職員向けの研修会を実施した。また、将来構想検討委員会を中心とした次期学習指導要領や高大接続改革に対応した学校グランドデザインの検討を行い、ルーブリックの策定までおこなった。教科指導においては、学校経営計画に基づく教科指導の自律的な目標を設定させ、授業を軸とした授業研究や模試分析や対策を毎回行い、教科会や職員会議等においてデータの共有を行い、組織的な PDC A サイクルを実施させた。</p> <p>(2)進行管理表を作成し、学校運営を計画的に実施した。</p> <p>(3)学校運営連絡協議会の評価等について検討・実施し、評価結果を適切に教職員に伝えて改善を図った。</p> <p>(4)スクールカウンセラーとも連携を図り、いじめの早期発見や早期対応を進めた。</p> <p>(5)体罰等の防止に向けて組織的な取組を行ったが、不適切な指導事案が発生した。</p> <p>(6)年 4 回の避難訓練（特に 10 月に実施した避難訓練は、地域の自治会・消防署・警察と連携した大規模な避難訓練）・6 月には、1 年においては、6 月に宿泊防災訓練を実施した。</p>
<p>図書館</p>	<p>(1)生徒の実情に応じた資料の充実及び環境の整備を行い、図書館の利用率の向上に取り組む。</p> <p>(2)3 年間をとおした読書指導を行うことにより、読解力や思考力・判断力・豊かな心を養う。</p> <p>(3)進路に関する資料を充実し、生徒のキャリアデザインの支援を行う。</p>	<p>A</p>	<p>(1)授業や進路対策に対応できる資料の購入を積極的に行い、環境整備を図った。</p> <p>(2)1 年生の図書館利用指導オリエンテーション、授業でのガイダンス等、継続的に読書指導を行った。読書推進イベントの実施、読書案内小冊子の作成等を実施した。</p> <p>(3)進路室との連携を進め、進路に関する情報提供、分野別進路ナビの作成、新聞記事による時事情報の提供等で支援に努めた。</p>

経営企画室	<p>(1)積極的に学校開放を進めていく。</p> <p>(2)校舎内外の環境美化や施設の維持補修に努める。</p> <p>(3)ライフワークバランスを積極的に進める。</p> <p>(4)効果的な予算執行を目指す。</p>	<p>(1)グラウンドを市内小学生に4日間開放した。公開講座を2講座実施し、2講座で40名の参加者があった。</p> <p>(2)アウトソーシングの発注件数が15件であった。例年より少ないが台風等の影響もあり、未だ修繕されていない箇所も存在する。</p> <p>(3)休暇の取得日数を増やし、積極的にバランスを取るよう努めた。</p> <p>(4)予算の執行率もほぼ100%であり、また、センター契約の割合を増やすことで、効果的な予算執行を行った。</p>
-------	--	--